



TITLE:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第6巻第6号) 編集後記・購読要項・投稿内規

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第6巻第6号) 編集後記・購読要項・投稿内規  
. 泌尿器科紀要 1960, 6(6): 510-510

ISSUE DATE:

1960-06

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/111955>

RIGHT:

Vol. 6, No. 6

Acta Urologica

June, 1960

# 泌尿器科紀要

第 6 卷 第 6 号

昭和 35 年 6 月

随想 恩師杉村先生を訪ねて.....	穴 戸 仙太郎	425
脊髓損傷の泌尿器科学的研究		
第2報 脊髓損傷患者の精囊腺レ線像.....	柳 原 正 志	427
肥大前立腺組織の Polarograph 的観察.....	道 中 信 也	435
無尿症の研究		
第1編 臨床篇.....	水 本 竜 助・寺 尾 尚・今 井 勲	442
尿管膀胱外開口の2例		
...仁 平 寛 巳・山 崎 巖・中 川 清 秀・足 立 明・粉 川 隼 美		449
腎肉腫の1例.....	磯 部 泰 行	462
腎盂レ線像及び尿中角化上皮の証明により診断し得た腎盂白板症の1例		
.....	中新井 邦 夫	470
後腹膜奇形腫の2例.....	矢 野 久 雄	480
後腹膜腔転移と思われる未分化胚細胞腫に就いて.....	松 浦 省 三・芳 賀 喬	493
男子性腺機能失調症に対する Durotest の応用(第1報)		
.....	石 神 襄 次・山 本 治・水 口 宗 男・吉 田 秀 政	501
泌尿器科領域における Durotest の使用経験		
.....	稲 田 務・酒 徳 治三郎・片 村 永 樹・北 山 太 一	506
編集後記・購読要項・投稿内規.....		510

## Urological Study on the Traumatic Injury of the Spinal Cord

II. Seminal Vesiculogram in Paraplegics. .... M. Yanagihara...427

## Polarographic Observations on the Hypertrophied Prostate Tissue.

..... N. Michinaka...435

## Studies on Anuria

Part I : Clinical Studies on Anuria. .... R. Mizumoto, T. Terao and I. Imai...442

## Ectopic Ureteral Orifices ; Two Case Reports..... H. Nihira,

I. Yamasaki, K. Nakagawa, A. Adachi and T. Kokawa...449

Renal Sarcoma : A Report of the Case. .... Y. Isobe...462

## A Case of Leukoplakia Diagnosed Preoperatively by the Pyelogram and

Cornified Epithelial Cells in Urine : Report of A Case. .... K. Nakaarai...470

Retroperitoneal Teratoma : Report of Two Cases. ....H. Yano...480

## On Dysgerminoma Possibly Metastatized to the Retroperitoneal Cavity.

..... S. Matsuura and T. Haga...493

## The Use of Durotest in Male Hypogonadism (Part 1).

..... J. Ishigami, O. Yamamoto, M. Mizuguchi and H. Yoshida...501

## Clinical Experience with Durotest in the Field of Urology.

..... T. Inada, J. Sakatoku, E. Katamura and T. Kitayama...506

京都大学医学部泌尿器科教室

Department of Urology, Faculty of Medicine,  
Kyoto University, Japan.

Editor : Prof. Tsutomu INADA

泌尿紀要

Acta Urol.



## 編集後記

今年は私（稲田）が教授に就任してから10周年に当るので、その記念事業を行うという考えが教室関係者の中に起こり、また泌尿器科関西地方会にても、その意味を含めた会を開きたいとの考えが、楠教授を中心として起つていた。それらの催しが5月7日に行われた。その日、第8回関西地方会が京大楽友会館にて開かれ、それが私の就任10周年を記念する会ともなつた。関西地区は勿論、遠く横浜、岡山、徳島、広島などからの参加者もあり、約100名を算した。一般演説17題、特別講演は楠隆光教授（尿石症に於ける副甲状腺機能亢進症の経験）、清水圭三教授（立位に於ける腎盂像の変化について）、加藤篤二教授（ストレスと男性性腺）の如くであつた。原田彰教授は特に「腎性血尿の診断と治療」と題して講演された。更に本会の名に於て記念品を、また中川小四郎博士から祝辞を私に賜つた。私は今日の会が極めて盛大に行われた事と、多大の厚意が私に与えられた事に対して、私は深く感謝した。次で都ホテルに於て教室主催の祝賀会が行われ、約80名の御参加を得て、盛大であつた。



本誌には原著欄の他に巻頭文と編集後記とがあるが、実はもつと柔か味を加えたいと思つてゐる。例えばグラフ頁、外国文献の紹介、読者の意見発表欄等を作つたり、巻頭文も一般会員からの自由投稿も受けるという如くである。こんな事が今日まで実現しなかつた主な原因は、やはり経済上の事情である。経済的に多少の余裕があれば、この位の増頁は容易である。本誌はもうける必要はないのであるから、会費（誌代）の納入と、論文掲載料の支払を遅れぬように守つて頂けば、それだけで多少の増頁は可能である。本誌を育ててゆくために、特にこの点をお願いする。さし当つて会員の自由な意見として、一題当たり400〜800字位の原稿を募集する。本名でも匿名でもよい。採否はお任せ願いたい（昭和35年6月）

### 購読要項

1. 発行は毎月（年12回）とする。年間購読者を以て会員とする。
2. 会員は年間料金 1,000円を前納する。1冊料金 100円、払込みは振替口座番号京都4772番 泌尿器科紀要編集部、或は第一銀行百万遍支店。
3. 入会申込みは氏名（フリガナ）、住所（雑誌郵送先）、勤務先、職地位、自宅開業の別、送金方法を御記入の上編集部宛。

### 投稿内規

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他。寄稿者は年間購読者に限る。
2. 原稿の長さは制限しないが簡潔にする。
3. 原稿は横書き、当用漢字、平仮名、新仮名使いを用い、片仮名には括弧を要しない。400字詰原稿用紙を用いること。附表、附図はなるべく欧文にすること。
4. 文献の書式は次の如くする。著者名：誌名、巻数：頁数、年次。  
例。中野：泌尿紀要、1：110、昭和30。Lazarus, A.: J. Urol., 45：527, 1941.
5. 300語以内の欧文抄録を記し、之には欧文の標題、所属機関名、ローマ字著者名を附け、なるべくタイプライターを用いること、希望の場合は当編集部にて翻訳します。抄録用の原稿を送ること。翻訳の実費は申受く。
6. 掲載料は4頁迄毎頁500円、それ以上の頁、アート頁、図表、写真は実費を申受ける。別冊20部を無料贈呈、それ以上は実費を徴収する。この場合には予め希望部数を申込むこと。特別掲載も考慮する。
7. 校正は初校のみ著者校正とし、再校以降は編集者が行う。
8. 原稿送り先は京都市左京区聖護院 京都大学病院 泌尿器科紀要編集部。